

活動予定

NRW 地区

■ 講演会「ドイツの医療の『どうして?』」

日時：9月21日（土）14:00～ JAMSNETドイツ共催

講師：馬場恒春氏（内科医/デーヤック会員/JAMSNETドイツ代表）

会場：デュッセルドルフ日本クラブ ホール（仮移転先）<http://www.jc-duesseldorf.de/index.php/jp/>
Oststraße 34a 4OG（電気店 CONRADの左横入口）

申し込み：hanada@dejak-tomonokai.de（花田）



自分の心身の健康を守ることは、とても大切なことです。ドイツの医療は進んでいて、安心して任せられる、というイメージもありますが、ちょっと体調を崩して医療機関を訪れることになると、時として言葉のハードルだけではなく「日本ではこうだったのに？」と戸惑うことがあります。

きちんと公的保険に加入しているのに使えない薬がある、手術して日も浅いののに退院の話が出る、プライベート保険なのに保険で検査がカバーされない、よく分からずに黙っていたら診察が終わってしまった、薬の用量が多い気がする、抗生物質が処方されない... 等等。でも、例えばドイツの平均入院日数は決して短い訳ではなく、OECD諸国の中では2番目ぐらいに長いということをご存知ですか？ 実は日本とドイツの医療制度には各々納得の背景と理由があります。今回は医療に関する日本とドイツの違いから「ドイツではどうして？」の疑問に答えていきたいと思います。（先生より）

今回の講演の題目は、会員の方々の声から企画が生まれ、日本とドイツの両方の医療に長く携わられてご経験の豊富な馬場先生にお話をいただくという絶好の機会となりました。できるだけ、参加者の疑問などを拾っていただくようにもお願いしています。

ドイツに住んでいる私たちにとっては、日本にいるとき以上に自分の健康を意識するだけでなく、医療のシステムについても知っていくことが大切です。知識を持って、積極的にプラス思考で日々を過ごしていきましょう。

ベルリン地区

■ 「ふらっとサロン」

会場：Giving Tree e.V.
Bernhardstr. 13, 10715 Berlin
S+ U Bundesplatzより徒歩3分

8月23日（金）
15:00～17:00 「私の健康法」

「ふらっとサロン」は最近日本語を話していない、誰かに聞きたいことがある、聞いてほしいことがある...という方々が毎月2時間気軽に集まり、お話をできるスペースです。会員・非会員は問いません。ご自宅でも不要になった本の交換もできるよう、7月からはミニ文庫も開設しました。以下のテーマはあくまでも大まかな枠とご理解ください。

まずは、のぞいてみませんか。お問い合わせは：

spennemann@dejak-tomonokai.de

まで。